

補助事業番号 25-2-010
補助事業名 平成25年度障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業
補助事業者名 公益財団法人日本障害者スポーツ協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

障がい者のスポーツ活動の促進を図るため、全国障害者スポーツ大会やその予選会の開催及び各競技大会を開催し、もって公益の増進に寄与することを目的とする。

(2) 実施内容

(1) 実施内容

① [第13回全国障害者スポーツ大会（東京都）](#)

② [第13回全国障害者スポーツ大会予選会](#)



2) 視覚障害者グランドソフトボール競技



3) 車椅子バスケットボール競技

4) 知的障害者バスケットボール競技



5) 知的障害者バレーボール競技

6) 知的障害者サッカー競技



7) 知的障害者ソフトボール競技



8) 知的障害者フットベースボール競技



9) 精神障害者バレーボール競技



③ 日本車椅子バスケットボール選手権大会（東京）



④ 2013パラサイクリング選手権



⑤ 国際盲人マラソン大会



⑥ ソチパラリンピック冬季競技大会日本選手団ユニフォーム経費



予想される事業実施効果

①第13回全国障害者スポーツ大会（東京都）

開催県では障がい者スポーツの指導員、関係する競技の審判員等、関係者が増加することが考えられる。また、ボランティアとして大会に関わることにより、一般の人がより障がい者スポーツを身近に感じ、障がい者スポーツの理解促進が進む。

②第13回全国障害者スポーツ大会予選会

9競技12種目の団体競技予選会が全国各ブロック（6～8ブロック）において実施された。予選会に参加する、各地域のチームも年々増加しており、また、予選会実施にあたり、各県障害者スポーツ協会、指導者協議会、地域の各競技団体との連携が深まり、スムーズな大会開催をすることができるようになる。

③日本車椅子バスケットボール選手権大会（東京）

本大会が国内最高峰の大会として継続実施することにより、選手、チームの目標となり、選手強化の重要な役割を果たす。

また車椅子バスケットボールは、一般競技とルールもほとんど同じで、初めて観戦しても応援しやすい。また、スピード、選手の動きの迫力で、見る人を魅了することができる。本大会を通して広く一般の人に、実際に身近で障がい者スポーツを体感してもらうことにより、障がい者スポーツの応援団を増やすことができる。

④2013パラサイクリング選手権大会の開催

リオ2016パラリンピック競技大会にむけて、本大会の開催で選手強化が進む。また、一般自転車競技協会とのつながりが強くなる。アトランタからの連続メダル獲得を継続できたのも本事業による普及・強化の成果である。

⑤国際盲人マラソン大会

国内で開催される、数少ない国際パラリンピック委員会公認大会で、本大会が継続開催されることにより、他の競技団体も国際大会の誘致や、公認申請を目指すようになる。

一般ランナーと一緒に走ることにより、伴走に興味を持つ一般ランナーが増える。

⑥ソチパラリンピック冬季競技大会日本選手団ユニフォーム経費

オリンピックと同じユニフォームを着用し、多くのメディアに取り上げられたことにより、パラリンピック選手が注目された。その効果で、広く一般の関心を高めることができ、今後の障がい者スポーツの振興につながる。

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

③ 日本車椅子バスケットボール選手権大会（東京）

- | | | | |
|---------|--------|----------|---------|
| 1) ポスター | 1,500部 | 2) プログラム | 3,000部 |
| 3) チラシ | 1,500部 | 4) フライヤー | 10,000部 |
| 5) 報告書 | 1,000部 | | |

なお、印刷物の配布先一覧は別添3のとおり

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名：公益財団法人日本障害者スポーツ協会

(コウエキザイダンハウジンニホンショウガイシヤスポーツキョウカイ)

住 所：103-0013

東京都中央区日本橋人形町 2-14-9 三星ビル 5 階

代表者名：会長 鳥原光憲（トリハラミツノリ）

担当部署：総務部（ソウムブ）

担当者名：岩坪 友子（イワツボトモコ）

電話番号：03-5939-7021

F A X：03-5641-1213

E - m a i l：miyashita@jsad.or.jp

U R L：<http://www.jsad.or.jp>